

銀行の主要な業務の内容

業務内容

当行は、「外貨」「不動産」「信託」の3つの機能をコネクトし、銀行業務、信託業務、および併営業務として不動産関連業務など各種ビジネスを展開しております。

1. 銀行業務

- (1) 預金業務
預金・定期預金の受入れ業務
(外貨預金、仕組預金の受入れを含みます。)
- (2) 貸付業務
資金の貸付業務 (外貨建貸付を含みます。)
- (3) 内国為替業務
送金・振込などの内国為替に関する各種業務
- (4) 外国為替業務
送金・振込および外国為替売買業務などの外国為替に関する各種業務

2. 信託業務

- (1) 金銭信託
特定金銭信託 (特金)、保全信託、年金特定運用金銭信託 (年金特金)、指定合同運用金銭信託、指定単独運用金銭信託
- (2) 金銭信託以外の金銭の信託
特定金外信託 (特金外)、金外信託 (指定運用)
- (3) 有価証券の信託
有価証券管理信託、有価証券処分信託、有価証券取得信託
- (4) 包括信託
包括信託 (指定運用、特定運用)
- (5) その他の信託
担保権信託 (セキュリティ・トラスト)、不動産管理処分信託、投資信託、年金信託、遺言代用信託、受益者連続信託、金銭債権信託、確定拠出年金の資産管理機関業務、美術品信託

3. 併営業務

- (1) 不動産仲介
お客さまの所有する不動産にかかる売却、購入ニーズに対する適切なサポート
- (2) 不動産コンサルティング
お客さまの所有する不動産にかかるCRE戦略立案などのコンサルティング業務
- (3) 不動産アセットマネジメント
物件の購入・保有期間中の運用・最終的な売却までの全てのステージにおける投資判断業務のご提供
- (4) 不動産鑑定
お客さまの不動産価値査定ニーズに対する鑑定評価のご提供

4. 登録金融機関業務

- (1) 金融商品仲介業務
仕組債などをはじめとする各種有価証券のご提供
- (2) 不動産信託受益権等売買等業務
不動産信託受益権の売買の媒介、私募の取り扱いなど
- (3) 投資信託の受益証券の募集および私募の取り扱い業務
投資信託の窓口販売および信託受託する投資信託の銀行や保険会社などの適格機関投資家への直接販売
- (4) 有価証券等管理業務
投資信託の受益証券などの有価証券の管理

5. 銀行代理業務

- (1) 銀行代理業
三井住友銀行を銀行代理業者として行う銀行代理業務
当行預金または定期積金等の受入れを内容とする契約の締結の媒介、当行資金の貸付を内容とする契約の締結の媒介、当行における為替取引を内容とする契約の締結の媒介

6. 信託契約代理業務

- (1) 信託契約代理業
三井住友銀行およびSMBC日興証券を信託契約代理店として行う、当行の指定単独運用信託、および事業・資産承継関連信託他、当行信託商品にかかる契約の締結の媒介

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組状況

当行は、個人のお客さまのニーズにお応えすることを主眼に業務運営を行っております。従いまして、中小企業向けの事業資金の融資業務は、基本的には行っておりません。ただし、お客さまからご相談をいただいた場合には、真摯に対応させていただきます。お客さまのご要請に十分耳を傾けるとともに、当行の判断や対応につきましても、お客さまのご理解が得られるよう、十分なご説明を差し上げる所存です。また、当行は地域社会に対する社会的責任を果たし、地域の活性化に貢献できるよう努めてまいります。

銀行業務のご案内

当行は、2015年11月1日にシティバンク銀行のリテールバンク事業を統合し、「PRESTIA (プレスティア)」として展開しております。また、富裕層のお客さま向けに、信託機能などを活用したテーラーメイド型のトータル・ソリューションをご提供するプライベートバンキングサービスを展開しております。

PRESTIA (プレスティア)のご案内

プレスティアでは、世界200以上の国と地域のVisa/PLUSマークのATMで現地通貨が引出せるキャッシュカードにデビット支払機能が付いたGLOBAL PASS® (多通貨Visaデビット一体型キャッシュカード)をはじめ、各種決済サービスや外国為替取引を中心に、幅広い商品・サービスや質の高い金融情報をご提供しております。また、インターネットバンキングでは、安心してお取引いただけるよう、ワンタイムパスワードやトランザクション認証など業界トップクラスのセキュリティサービスをご提供しております。

PRESTIA (プレスティア)の魅力

外貨取引の強み

- ・多彩な外貨建商品ラインアップ

マルチチャネル展開

- ・国内主要都市に広がる店舗網
- ・24時間365日国内外から利用可能なコールセンター
- ・円および外貨の各種取引を行えるインターネットバンキング
- ・時間、場所を選ばないオンライン相談
- ・いつでも気軽に使えるSMBC信託銀行アプリ

海外ネットワーク

- ・世界200以上の国と地域で使えるGLOBAL PASS® (多通貨Visaデビット一体型キャッシュカード)

卓越したコンサルティング

- ・迅速かつ豊富な情報分析による資産運用コンサルティング
- ・相続や事業承継のニーズもサポート
- ・外国人のお客さまには英語でサポート

多様なローン

- ・最大5億円までお借入が可能な住宅ローン
- ・不動産投資ローンやセカンドハウスローンなど

グローバル企業にお勤めの皆さま

- ・提携企業向け特別優待プログラムの提供
- ・海外赴任者・駐在員・日本駐在の外国人幹部社員などの皆さまへのサポート
- ・グローバル企業向け海外人事関連ソリューションの提供



特別なお客さまに、より上質なサービスをご提供

お取引残高に応じた各種手数料優遇のほか、専任コンサルタントによる資産運用コンサルティングや各種優遇サービスをご提供するプログラムをご用意しております。



豊富な17通貨の外貨預金

主要通貨から新興国通貨まで17通貨の外貨預金を取り揃えています。「外貨積立サービス」では、円貨から外貨に交換する際の外国為替手数料が無料となるうえ、一定の積立がされている場合には口座維持手数料が無料となります。

米ドル	豪ドル	ニュージーランドドル	英ポンド
カナダドル	ユーロ	スイスフラン	シンガポールドル
香港ドル	中国人民元*	タイバーツ	南アフリカランド
トルコリラ	メキシコペソ	ノルウェークローネ	スウェーデンクローネ
デンマーククローネ	*プレスティア マルチマネー口座外貨普通預金での中国人名元のお取扱いはオプション中国人民元のみとなります。		

外貨もそのまま使えるカード。 GLOBAL PASS®

(多通貨Visaデビット一体型キャッシュカード)
日本円を含め18通貨対応。
口座の外貨をそのまま使える
Visaデビット一体型キャッシュカードです。

© (GLOBAL PASS) と (ANAマイレージクラブ GLOBAL PASS) の2種類からお選びいただけます。



SMBCグループとの共同店舗

当行では、三井住友銀行およびSMBC日興証券との「共同店舗」を展開しております。外貨を強みとするプレスティアのサービスに加えて、SMBCグループのネットワークを活用した銀行・信託・証券の総合的な金融サービスをワンストップでご提供しております。



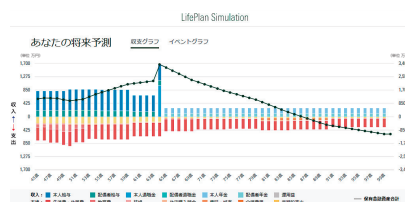
グローバルブランチ

赤坂支店、広尾支店を「グローバルブランチ」と位置づけ、お客さまに快適に銀行サービスをご利用いただくため、英語の各種パンフレットや商品説明書をご用意するとともに、商品・サービスのコンサルテーションも英語でスムーズに対応しております。



ライフプランシミュレーション

お客さまの資産背景等に基づいて将来収支のシミュレーションを作成することができ「ライフプランツール」を導入し、お客さまに寄り添ったコンサルティングをご提供しております。



主な商品ラインアップ

外貨預金ラインアップ

普通預金

- プレスティア マルチマネー口座 外貨普通預金
- プレスティア外貨キャッシュカード用米ドル普通預金

定期預金

- 外貨定期預金
- ステップアップ定期預金

仕組預金

- プレミアム・デポジット
＜為替オプション付仕組預金＞

外国為替取引

- オーダーウォッチ＜為替指値注文取引＞
- クロスカレンシー取引＜外貨間為替取引＞

投資信託

米ドル・ユーロ・豪ドル・NZドル建で運用できる投資信託を、世界中から厳選しております。

金融商品仲介

SMBC日興証券と提携し、外国債券などの売買の媒介を行っております。また、SMBC日興証券の金融商品仲介口座（個人・法人）の開設も行っております。

円預金ラインアップ

普通預金

- 円普通預金
- プレスティア マルチマネー口座 円普通預金

定期預金

- スーパー定期
- 大口定期

保険商品

年金準備、死亡保障確保、相続、生前贈与などさまざまなニーズに適した商品ラインアップをご用意しております。

ローン

- 住宅ローン・不動産担保ローン
- プレスティア マルチマネークレジット（預金担保貸越）

GLOBAL PASS

- GLOBAL PASS（多通貨Visaデビット一体型キャッシュカード）
- ANAマイレージクラブ GLOBAL PASS

提携クレジットカード

- PRESTIA Visa GOLD CARD
- PRESTIA Visa PLATINUM CARD

プライベートバンキングのご案内

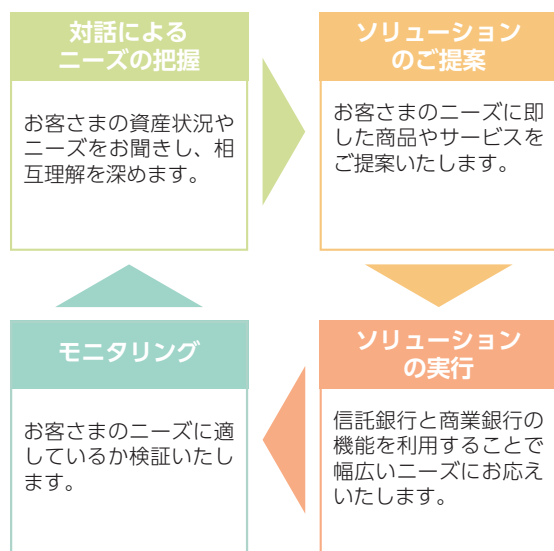


プライベートバンキングでは、信託機能を活用したテーラーメイド型の資産運用商品をはじめ、資産承継・事業承継・不動産業務などに関して、世代を超えたトータル・ソリューションをご提供しております。プライベートバンカーは、お客さまとの対話を第一に、専属の資産運用チームとともにお客さまのニーズに合わせて金融商品・サービスをカスタマイズし、ご提案いたします。

プライベートバンキングの哲学

お客さまのニーズを的確に把握し、長期的な視点で、テーラーメイド・ソリューションをご提供いたします。

ウェルスマネジメントのプロセス



プライベートバンキングの3つの魅力

- ① お客さまと長期にわたる、揺るぎない信頼関係を構築
専属のプライベートバンカーが大切な資産のコンシェルジュとして担当いたします。
- ② 信託の仕組みを最大限に活用し、大切な資産の管理・運用・承継をサポート
ライフステージに応じて、さまざまな信託ソリューションをご提供いたします。
- ③ SMBCグループ連携を通じたスピーディかつトータルなソリューションをご提供
2020年4月、富裕層のお客さまの多様なご要望にお応えできる理想的な体制を目指し、SMBCグループのSMBC日興証券、三井住友銀行、SMBC信託銀行の各社で行っている富裕層向けのサービスを一体化させたブランドとして「SMBC Private Wealth」を立ち上げました。グループ各社の力を結集し、ワンストップでソリューションを提供してまいります。

トータル・ソリューション

資産運用

- ・ 指定運用信託
- ・ 仕組預金

資産購入

- ・ 有価証券取得信託
- ・ 不動産仲介
- ・ ローン

資産売却

- ・ 有価証券処分信託
- ・ 不動産仲介

資産管理

- ・ 有価証券管理信託

資産承継

- ・ 遺言代用信託
- ・ 受益者連続信託

マーケット情報発信の取組

当行では経済や為替・株式などの金融市場分析を専門に行う投資調査部を配置しております。国内外の情報を収集し、金融市場レポートや各種セミナーの開催、テレビや新聞といったメディアを通して個人投資家の皆さまに向けて中立的な立場から情報をご提供しております。

金融市場に精通したアナリスト



シニアマーケットアナリスト
投資調査部長
山口 真弘



シニアFXマーケットアナリスト
二宮 圭子

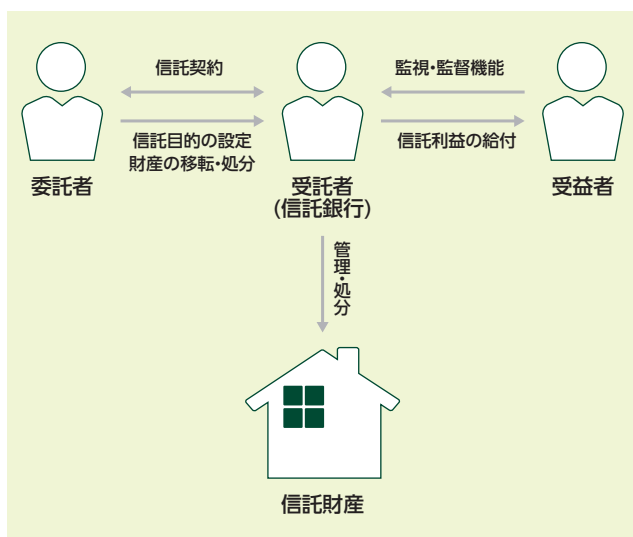
信託業務のご案内

信託とは

「信託」とは、金融や不動産などの財産を有するものが、委託者としてその財産（信託財産）を信頼できる受託者に管理させるために結ぶ契約で、どのように運用・管理をして誰に渡すかを合意します。

受託者は、その合意に基づいて受託者の名義で財産を管理し、財産から生じる収益は合意に基づいて分配されます。

財産を信託すると受益権が交付され、受益権を持つ人が財産の収益を得るので、実質的に財産を所有することになります。受益権そのものは分割・譲渡でき、受託者が倒産しても、財産は保護されますので、差し押さえなどの影響を回避することが可能となります。



信託銀行と銀行の違い

信託銀行は、銀行に認められた「銀行業務」に加え、金銭の信託や有価証券の信託といった「信託業務」と不動産仲介などの財産の管理・処分などに関連する「併営業務」を営むことができる金融機関です。

銀行業務	信託業務	
	信託業務	併営業務
預金業務	金銭の信託	不動産仲介
貸付業務	有価証券の信託	不動産コンサルティング
為替業務など	遺言代用信託など	不動産鑑定など

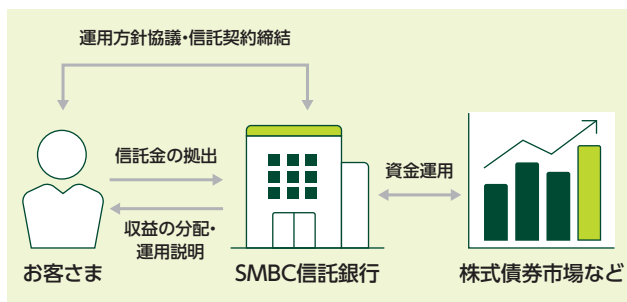
主な商品ラインアップ

個人のお客さま

資産運用

●指定運用の信託／特定運用の信託

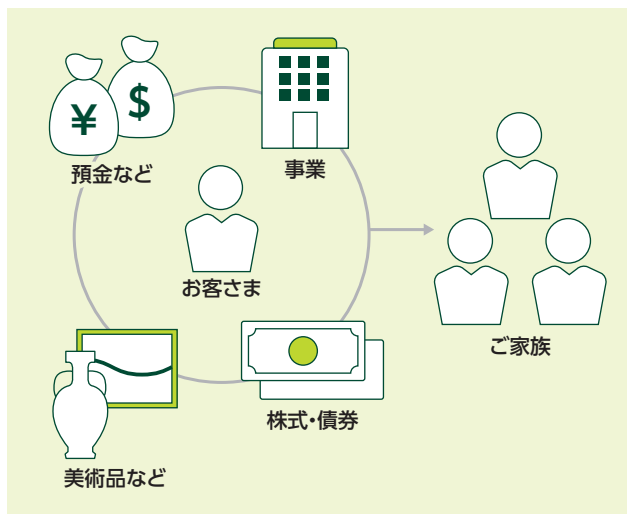
お客さまの投資ニーズにお応えする包括的な資産運用ソリューションをご提供いたします。



資産承継・事業承継

●遺言代用信託／受益者連続信託

遺言では実現しきれないお客さまのさまざまな資産承継・事業承継ニーズに対し、最適なソリューションをご提供することにより、円滑な資産や事業の承継をサポートいたします。



資産管理・保全

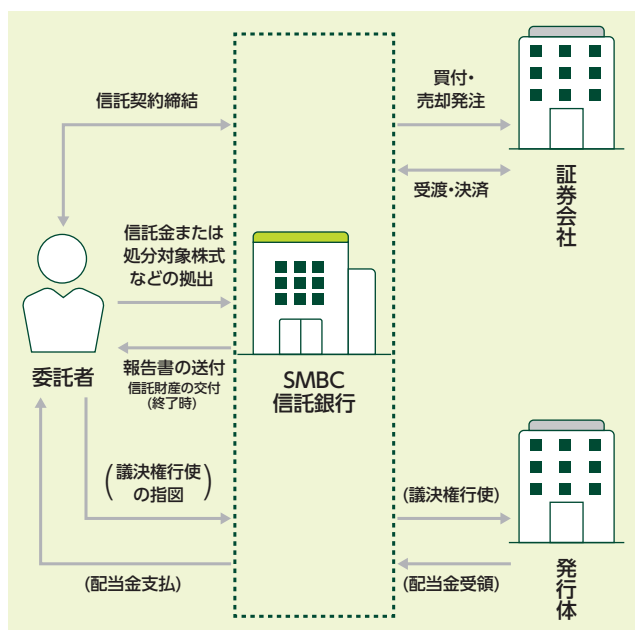
●有価証券管理信託

お客さまの大切な財産を、お客さまの目的やニーズに応じて、安全かつ長期にわたり管理・保全いたします。信託を活用した資産管理は、ご多忙で時間に余裕がなく、多岐にわたる資産を保有し管理することが難しいお客さまにとって、最適な管理・保全方法といえます。受託財産は当行名義で管理されることから、個人情報を守られます。また、信託財産は当行の固有資産と分別管理され、資産状況、取引内容は定期的にお客さまにご報告いたします。

資産売買

●有価証券取得信託、有価証券処分信託

お客さまのライフステージに応じて、資産の管理や承継への対策にお役に立てるさまざまな資産売買ソリューションをご提供いたします。例えば、上場企業のオーナーさまやご一族にとって、ご自身またはご家族が関係する会社の株式は大切な資産です。一方で、その株式を売買するにあたっては、インサイダー取引規制や相場操縦規制への抵触や疑義が生じるリスクに注意を払う必要があります。当行では、これらのリスクに対応する方法として、受託者裁量での信託契約による株式の売買をご提案しております。



法人のお客さま

資産管理・保全

●有価証券管理信託

ご所有の株式や債券などの有価証券を、当行名義で管理いたします。配当金や元利金は当行が受領しお客さまに交付するほか、株式の議決権はお客さまの指図に基づいて当行が行使いたします。

●証券投資信託

複数の投資家から集められた資金を一つにまとめ、運用の専門機関である投信委託会社が主として有価証券に投資し、その投資収益を投資家の皆さまに配分いたします。

●保全信託

お客さまから預託を受けた資金を、信託財産として分別管理いたします。外為証拠金取引などに関する顧客証拠金について、資金の保全を図り、法令遵守および顧客保護を実現いたします。

資産売買

●有価証券取得信託、有価証券処分信託

お客さまの目的やニーズに応じて、さまざまな資産売買ソリューションをご提供いたします。例えば、上場株式の売買にあたっては、インサイダー取引規制や相場操縦規制への抵触や疑義が生じるリスクに注意を払う必要があります。これらのリスクに対応する方法として、受託者裁量での信託契約による株式の売買をご提案しております。

金銭債権信託など

法人のお客さまの資金調達や担保などに関連するソリューションをご提供いたします。

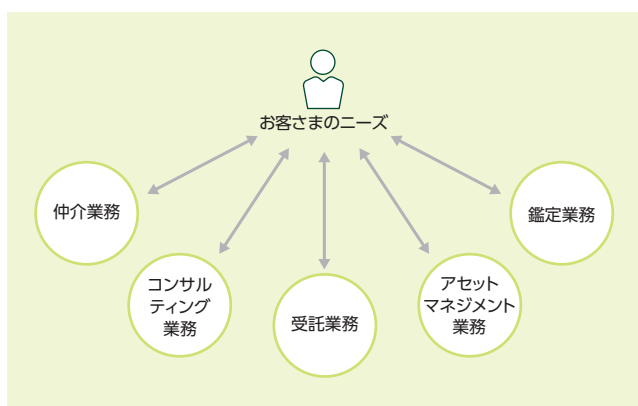
信託型デットアサンプションなど

法人のお客さまの財務改善に関連するソリューションをご提供いたします。

不動産業務のご案内

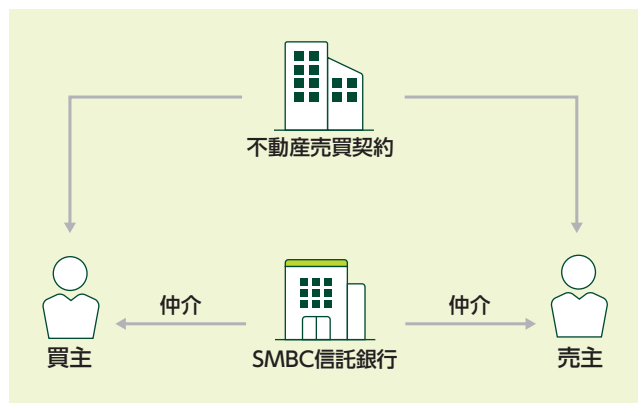
大企業や国内外の投資家、富裕層などのお客さまの不動産関連取引ニーズに対し、仲介業務、受託業務、アセットマネジメント (AM) 業務などさまざまなサービスをご提供いたします。

最適な不動産戦略の実行へ



仲介業務

法人もしくは富裕層のお客さまの大口不動産売買ニーズに対し、総合的なアドバイザーとしてサポートいたします。

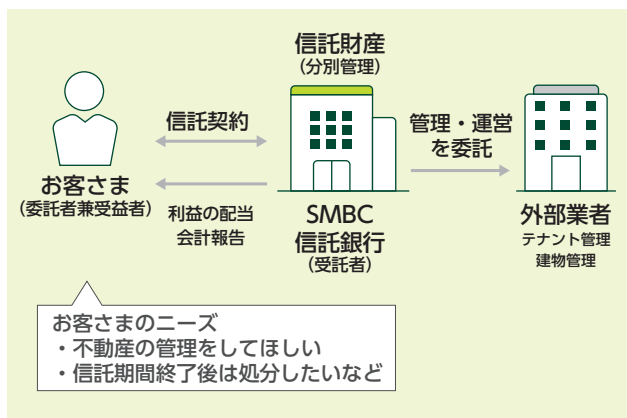


コンサルティング業務

不動産をお持ちのお客さまに対し、企業価値向上の観点から、不動産に関する調査、分析はもちろんのこと、お客さまの財務戦略なども見据えた幅広いコンサルティングニーズにお応えいたします。

受託業務

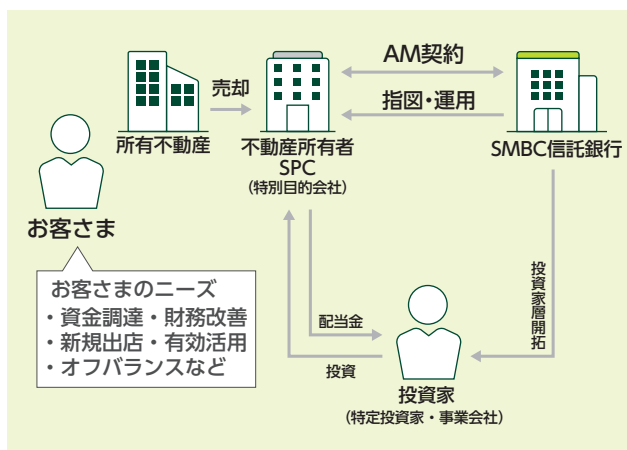
お客さまが保有する不動産の信託受託ニーズにお応えいたします。



アセットマネジメント (AM) 業務

お客さまの不動産への投資運用ニーズにお応えいたします。

物件の購入、保有期間中の運用、最終的な売却まで全てのステージで投資判断に必要なサポートやサービスをご提供いたします (助言を含む)。



鑑定業務

高い専門性を有する不動産鑑定士により、高品質な鑑定評価を行っております。

トピックス

■ 高品質なコールセンター

プレステリアホン バンキングを運営するコールセンターは、世界最大のサポートサービス業界のメンバーシップ団体HDIの日本拠点HDI-Japanが主催する「HDI格付ベンチマーク」の『Webサポート』『問合せ窓口（電話）』『クオリティ（電話）』格付けにおいて、銀行業界で最高水準の評価を継続して獲得しております。

また、2020年2月にはコールセンター業務の国際基準品質保証規格である『COPC® CX規格CSP6.1版』を取得し、2021年3月には『COPC® CX規格CSP6.2版』を取得するなど、高い外部評価を継続的に得ています。



■ 本店営業部設置

2021年11月、本店営業部を三井住友銀行東館4階に設置いたしました。PRESTIAの商品・サービスの他、信託・不動産に関連したコンサルティングにも対応し、信託銀行ならではの総合的なソリューションをご提供しております。



■ SMBC信託銀行アプリ

2021年10月、iOS、Android版でのスマートフォンアプリをリリースいたしました。残高・取引確認に加えて、外貨取引・投資信託もお取引可能です。また、生体認証にも対応しており、簡単・安全にご利用いただけます。



■ 来店不要のオンライン相談

お客さまのスマートフォンやパソコンと当行の専任コンサルタントをオンラインで繋ぎ、対面と変わらないコンサルティングをご提供しております。



■ 投信販売における「顧客本位の業務運営」の最高評価

2022年1月、当行は格付投資情報センター（以下R&I）より、「顧客本位の投信販売会社評価」において最も高い「S+」評価を獲得しました。今後もより一層のお客さま本位の業務運営を追求してまいります。

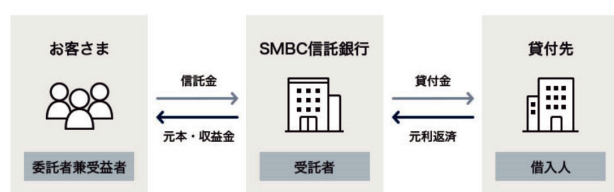


注意事項：

「R&I顧客本位の投信販売会社評価」（以下、「本評価」）は、投信販売業務を行う販売会社の「顧客本位の業務運営」の取組に関するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。R&Iが本評価を行うに際して用いた情報は、R&Iがその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、R&Iは、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。また、その正確性および完全性につきR&I等が保証するものではなく、特定商品の購入、売却、保有を推奨、または将来のパフォーマンスを保証するものではありません。本評価に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

合同運用指定金銭信託の取扱い

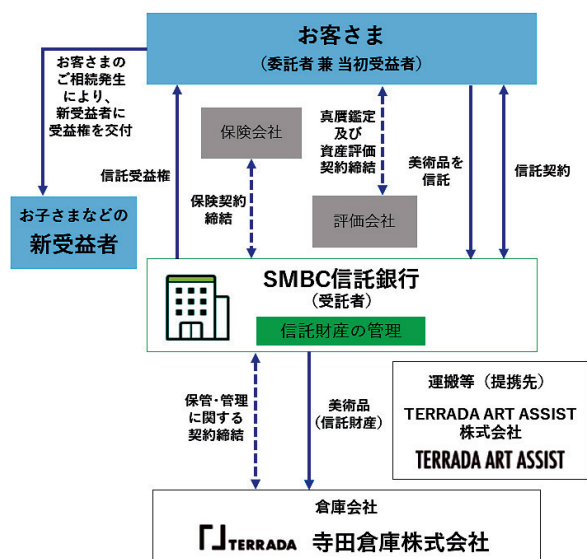
「安全性・安定性に配慮しつつ、運用経験のないお客さまにも安心して資金をお預けいただける」ことをコンセプトとした円建ての運用商品です。お預かりする資金を一つにまとめることで、より大きく安定的な運用を目指します。満期時には償還する元本とともに収益金としての配当を受け取ることが可能です。



美術品信託の取扱い

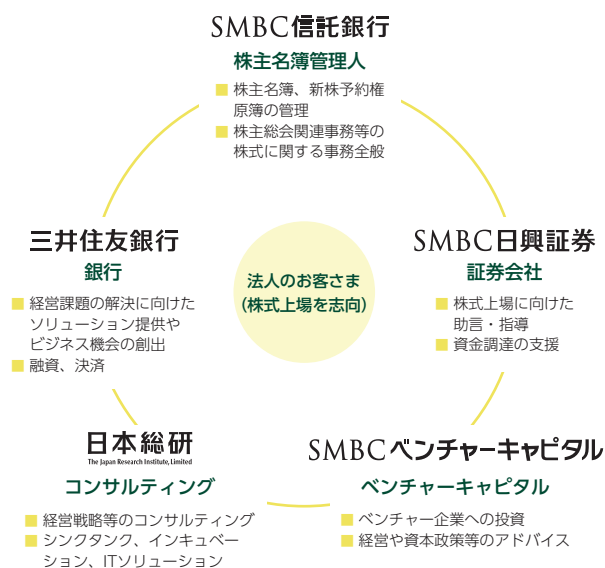
当行では、お客さまの美術品にかかる承継ニーズに対するソリューションを提供しております。信託契約にてあらかじめ承継先を決めることで、美術品の円滑な承継を実現いたします。信託財産である美術品は、当行が契約している寺田倉庫株式会社に保管いたします。なお、美術品の運搬などは、当行提携先であるTERRADA ART ASSIST 株式会社(*)へのお引き合わせが可能です。

(*) 寺田倉庫株式会社のグループ会社



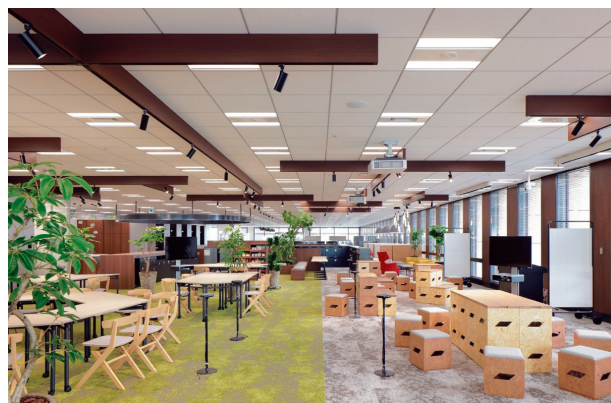
証券代行業務への参入

当行は、株式会社アイ・アールジャパンと業務提携し、2021年12月に証券代行業務に参入いたしました。SMBCグループの総合力とネットワークを活用して、新規上場を目指す法人のお客さま (IPO志向先) のニーズに対応した証券代行サービスを提供し、お客さまの持続的な成長をサポートしてまいります。



本社移転・集約

2021年7月、本社を三井住友銀行東館に移転しました。新オフィスでは、ネットワークの無線化や固定電話の廃止など、業務内容に応じて働く場所を選択できる「新ワークスタイル」を導入。社員の自立性を高めるとともに、コミュニケーションの活性化を通じた企業価値の向上を図ってまいります。



サステナビリティへの取組

取組方針

当行は、サステナビリティへの取組みを経営の最重要課題の一つと位置づけています。持続可能な社会の実現に貢献することが当行の持続的成長の大前提であるとの考えのもと、社会課題の解決と当行の経営戦略を一体ととらえた価値創造に取り組んでおります。

当行では、SMBCグループの「SMBCグループ サステナビリティ宣言」(*)と、2030年までの10年間の計画「SMBC Group GREEN×GLOBE 2030」(*)に基づき、サステナビリティに関する方針を『長期的視点に立ったビジネスを通じ、「お客さま本位の業務運営(CX)」並びに「従業員エンゲージメント向上(EX)」を追求し、信託銀行として持続的に成長しながら、持続可能な社会の実現にも貢献していくこと』と定め、当行に期待される役割に応じたビジネス展開と社会貢献活動を推進してまいります。

(*)「SMBCグループ サステナビリティ宣言」、

「SMBC Group GREEN×GLOBE 2030」

https://www.smfg.co.jp/sustainability/group_sustainability/

取組むべき重点課題

環境

目指す社会の前提となる、
地域、世代を超えた人類共通の財産

コミュニティ

目指す社会を実現するため、
人と人との繋がりにより生まれる
「信頼」「相互扶助」をもとにした
公と民の間を埋めるセーフティネット

次世代

目指す社会を実現するため、
社会をより良くし
次の世代にその社会を受け渡す
聡明な人々

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

主な活動事例

環境へのアプローチ



●再生可能エネルギービジネス

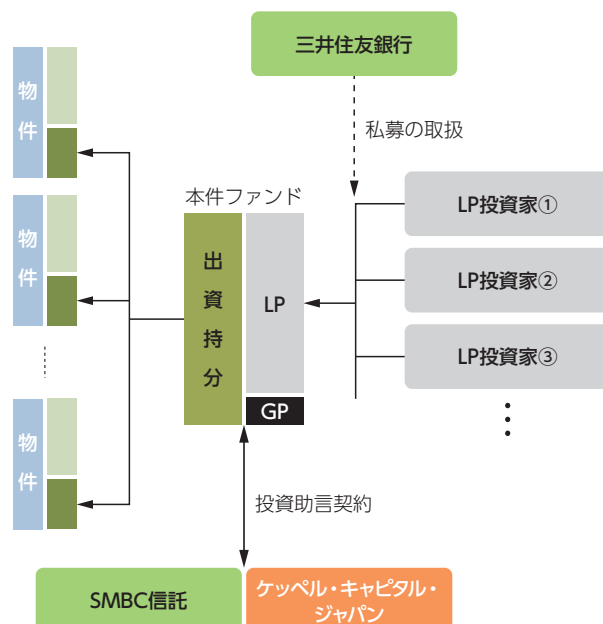
太陽光発電設備およびその敷地の利用権(所有権、賃借権または地上権)を受託し、信託財産を管理するとともに信託受託者として売電により得た収入を原資に受益者への配当を行うなど、再生可能エネルギービジネスへの取組みを行っております。



●サステナブルバリューアップファンド

2021年2月、三井住友銀行と協働し、「サステナブルバリューアップファンド1号投資事業有限責任組合」を立ち上げました。築年数が経過した不動産を中心に投資を行い、空調施設を最新設備に更新することで省エネを実現するなど、積極的な改修工事を実施いたします。これにより投資不動産の価値向上による国内不動産ストックの良質化、および環境負荷の低減に貢献してまいります。

不動産保有SPC



●投融資におけるESGを考慮した運営方針

SMBCグループでは、環境や社会へ大きな影響を与える可能性が高い事業・セクターへの対応方針を公表しており、当行は、ビジネスに沿う形で導入しております。

今後も外部環境を踏まえた見直しを随時検討してまいります。

方針を公表している事業・セクター

- 石炭火力発電 ●水力発電 ●石油・ガス
- 炭鉱採掘 ●タバコ製造 ●自然保護地域
- パーム油農園開発 ●森林伐採
- クラスター爆弾やその他殺戮兵器の製造

(※) SMBCグループの環境リスクへの対応

<https://www.smfg.co.jp/sustainability/materiality/environment/risk/>

コミュニティへのアプローチ



●ファミリーバトン (贈与サポートサービス)

資産承継をお考えのお客さまに、暦年課税制度を活用し、ご家族への贈与をサポートしております。本サービスは、円貨に加えて外貨5通貨(米ドル、豪ドル、ニュージーランドドル、英ポンド、ユーロ)での贈与も可能です。



●スマート相続口座

ご自身の資産を運用しながら、相続発生時には、資産をあらかじめご指定いただいたご家族にスムーズに承継することができる国内初の商品です。スマートなお手続きで、長い人生を豊かに過ごすための資産運用と、次世代に残すためのスムーズな相続手続きの両方を可能にいたします。



ご契約時や相続時に、面倒な書類が不要。お手続きもスムーズに。



電子契約によるスピーディな手続きが可能。



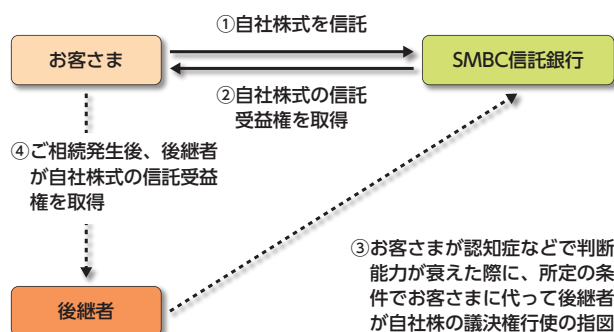
ご契約後でも、口座の入出金や、資産の入替えが自由。



●認知症対応型の事業承継支援

高齢化社会において、「次世代の後継者へ自社株式を承継する道筋を決めておきたい」、「将来、認知症などで判断能力が衰えた際、議決権が行使できないことによる経営リスクに備えたい」など企業オーナーの悩みが顕著化しています。このような人生100年時代に想定される社会課題に対応する金融ソリューションとして、認知症特約付遺言代用信託をご提供しております。

<認知症特約付遺言代用信託の概要>



●フェアトレード製品を通じた開発途上国支援

当行は、国際フェアトレード認証を取得した企業・団体から生活雑貨などを購入し、GLOBAL PASS® (多通貨 Visaデビット一体型キャッシュカード) を毎年一定額以上ご利用いただいたお客さま(*)へお届けする取組みを通じて、開発途上国における持続可能な開発目標 (SDGs) に寄与し、お客さまとともにサステナビリティ貢献を可能とする取組みを推進しております。

(*) 取組み期間中に国内加盟店で一定額以上をGLOBAL PASS®でお支払いされた、日本国内に在住されている個人のお客さま



国際
フェアトレード
認証ラベル



プレゼント用フェアトレード製品
(コットン製品) のイメージ

●水族館ビジネスを通じた地方創生

地方創生を注力分野の一つと位置づけ、水族館ビジネスを通じて地域活性化に貢献しております。2020年4月には四国水族館（香川県宇多津町）、2021年10月には神戸ポートミュージアム内に劇場型アクアリウム「átoa（アトア）」をオープンしました。

当行では、アセットマネジメント業務を通じて施設の開発・運営・管理に携わっております。



四国水族館

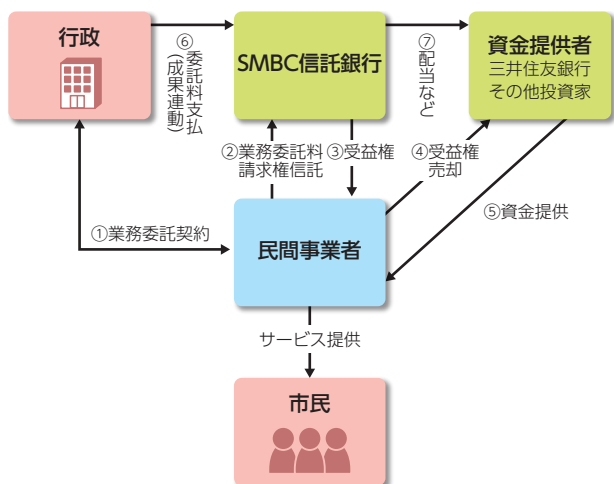


átoa

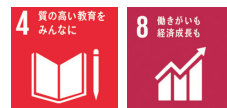
●ソーシャル・インパクト・ボンド

三井住友銀行と協働し、社会的課題の解決を目的とした官民連携スキームである「ソーシャル・インパクト・ボンド」の取組みを推進しております。

2017年7月に神戸市の糖尿病性腎症等重症化予防事業、2019年9月には豊中市の禁煙事業において、いずれも本邦初の取組みとなるソーシャル・インパクト・ボンドを組成しました。



次世代へのアプローチ



●次世代への質の高い教育支援

経済教育団体ジュニア・アチーブメント日本と品川区が共同運営する小学5年生向けの経済教育プログラム「品川スチューデント・シティ」に協賛しております。今年度はオンラインによるプログラムに、従業員をボランティアスタッフとして派遣するなど、次世代を担う子供たちをサポートしております。また京都女子大学への金融教育出張講座や、Society5.0時代に向け滋賀大学とデータサイエンスにかかる教育および研究の分野における連携・協力に関する協定を締結するなど、産学連携による次世代への教育支援に取り組んでおります。

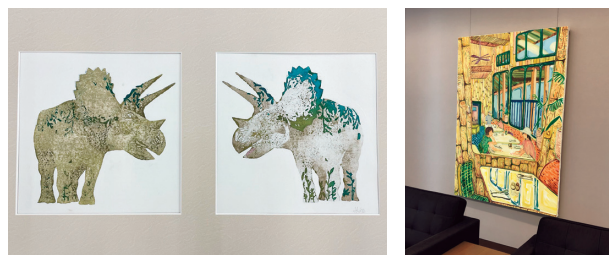


●若手アーティスト支援

2019年から2020年に日本橋支店にて展開した「アートランチ」の内容を一部見直し、「アートランチNEXT」として新たに展開しております。

大阪芸術大学の協力のもと、次世代を担う現役学生などの作品を全国17店舗に展示しております。また、当行ホームページでも作品写真や動画を掲載し、オンラインでの鑑賞を通じて、より多くのお客さまにご覧いただける機会を創出しております。

当行では従来より、本社に女子美術大学の学生による作品を展示する等、「次世代アーティストの支援」を続けております。



事業の概況

当行の2021年度中間期の営業の概況をご報告申し上げます。

経済金融環境

当期の経済情勢を顧みますと、新型コロナウイルスワクチン接種の進展に伴って欧米では経済再開の動きが本格化し、景気回復基調が続きました。ただし、ワクチン接種の進捗により、景気回復ペースには国ごとに違いが生じ、期間中の大半で緊急事態宣言が発出されていた日本では経済再開が遅れています。また、夏場以降は感染再拡大とともに、原材料価格高騰、人手不足、供給網の混乱などの影響によって、景気回復ペースが鈍化する中で、物価上昇への懸念が強まり、一部の国では早期の金融引き締め観測が浮上しています。

金融情勢では、経済活動正常化への期待を背景に、夏場にかけて米国の株価は上昇基調を辿りました。その後、中国の債務問題に対する警戒感や米国で金融政策正常化開始への思惑が浮上し、軟調に推移しました。日本株は緊急事態宣言の発出により夏場にかけて軟調に推移しましたが、その後は政策期待から押し上げられました。また、米国で金融緩和の長期化観測が広がり、米長期金利は夏場にかけて低下基調となりましたが、物価の高止まりに対する懸念が徐々に強まり、反転しました。日本の長期金利も、米長期金利に連れて上下しました。外国為替市場では、相対的な米景気の強さや米金融政策の正常化が近づいているとの見方から、主要通貨に対してドル高基調が続きました。ドル円相場は上下動を繰り返しつつ、円安基調を保ちました。

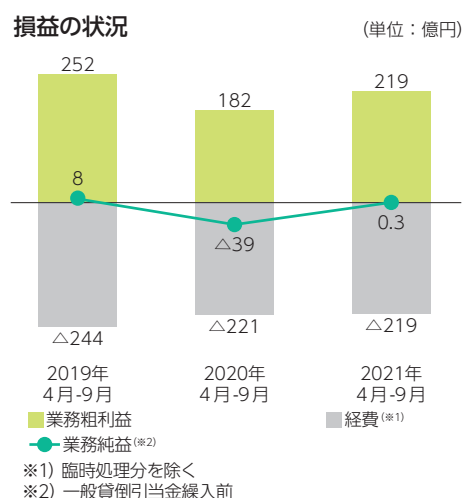
業績と財務状況

損益の状況

業務粗利益は、昨年度のコロナ影響による取引減少の回復により、不動産仲介手数料や投信販売手数料などの役務取引等収益が増加したことで、前年同期比37億円増益の219億円となりました。

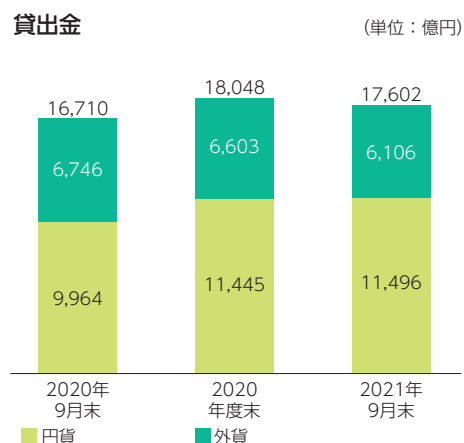
営業経費(臨時処理分を除く)は、経営基盤改革の着実な進展により、同2億円減少の219億円となりました。

以上の結果、2021年度中間期の業務純益(一般貸倒引当金繰入前)は、同39億円増益の0.3億円となりました。



貸出金

貸出金の残高は、外貨貸出金が減少したことにより、前年度末比446億円減少し、1兆7,602億円となりました。



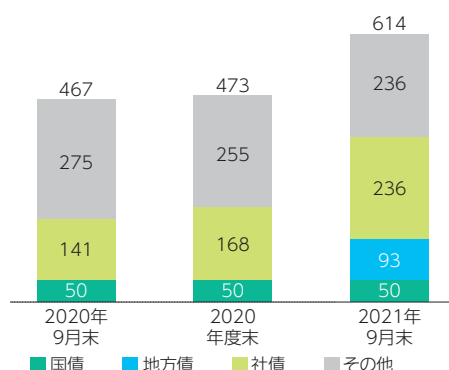
有価証券

有価証券は、地方債を新たに購入し、前年度末比141億円増加の614億円となりました。

内訳は、国債が50億円、地方債が93億円、社債が236億円、その他が236億円です。

有価証券

(単位：億円)

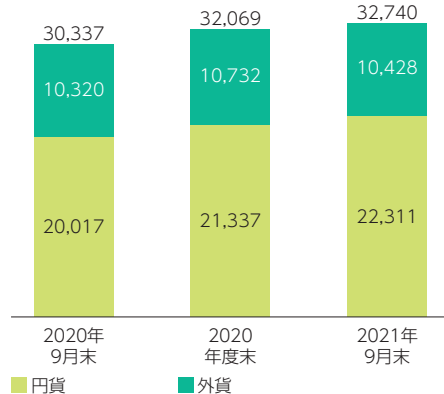


預金

円預金は、前年度末比974億円増加の2兆2,311億円となりました。外貨預金は、円安トレンドによる円預金へのシフトから、外貨預金全体の円換算額は同304億円減少の1兆428億円となりました。円預金を含めた預金全体では同671億円増加の3兆2,740億円となりました。

預金

(単位：億円)



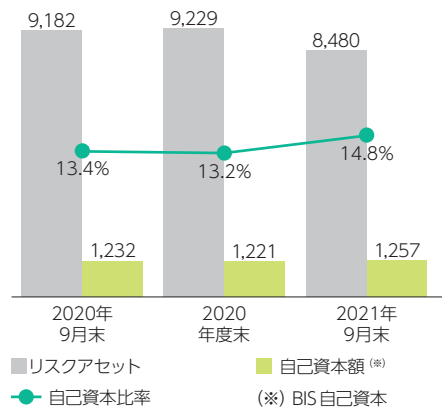
自己資本比率

自己資本の額は、自己資本の控除項目である無形固定資産の減少などにより、前年度末比36億円増加の1,257億円となりました。リスク・アセットは、外貨建貸出金の減少を主因に、同749億円減少の8,480億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、同1.6%上昇の14.8%となりました。

自己資本比率

(単位：億円)



(注) 記載金額は、億円未満を四捨五入して表示しております。